



宮崎公立大学の今を伝える MMU SHiP

エムエムユー
シップ

特集1 MMU的 世界の歩き方

特集2 卒業論文提出日に迫る！

視界よっ！ 英国 スターリング大学 **KYO-SHiP** 倉 真一 准教授

しっぽり語る。私を変えた一冊。 **CIRCLE DE GOSHIP** やたらと長い名前のサークル

連続リレーエッセイ いいだしっぺ 川瀬 隆千 教授 「批判的思考のすすめ」

@MIYAZAKI 綾の「水」、延岡の「恵比須」をご紹介します！

REAL VOICE うちらマブダチ！ **未来の compass** 株式会社宮崎太陽銀行 伊東 歩美さん

MMU NEWS PLUS



Miyazaki Municipal
University
Communication Magazine
"MMU SHiP"

vol.05

今回の表紙 卒業論文を提出し終えた直後の Intercultural Communication ゼミ

大学生にとって卒業論文提出は、学生生活最後にして最大の山場。さらに、宮崎公立大学（以下、MMU）の卒論提出は、提出日時が決まっており、その時間内での提出が求められます。提出会場は、職員が論文の提出要件を満たすかの審査を行う緊張感に包まれ、晴れて受理票を手にした学生は大きな達成感に包まれます。（P.8へ）

MMU的世界の歩き方



MMUの学生は、国際交流活動に一生懸命。今回の特集では、海外留学や海外渡航を経験した学生の声を様々な角度からお届けします。まずは、海外留学・渡航経験者の、海外に行く前と帰国後のアレコレを一挙大公開！

Q. 出発前のいつ頃決断しましたか？

「大学入学前からの夢」が多く、具体的な決断は1年～半年前が最多

・小学生の時から夢でした！ 出発の1年前、東日本大震災の後、無気力状態に陥り、留学の夢を諦めて早く地元の岩手県に帰るうかとぼんやり考えていましたが父親から「とりあえず行ってみなさい！」と背中を押してもらいました。(イギリス 11 月)

・そもそも、中学生の頃から留学したいと思っていました。(イギリス 1年/カナダ 11 月)

・出発の2カ月前。(オーストラリア) ↑今回の回答のうち、最短期間！

・留学は入学前から。当初は1年留学で考えていましたが、ゼミ活動や就職活動を考慮し、4年の10～12月の渡航に。4月に予算を見積もり、8月には手続きを完了させました。(アメリカ 3 月)

MMU公費派遣留学*1 経験者

・留学を希望し始めたのは高校生の時。整った留学制度もMMUを選んだ理由の1つでした。大学2年の春から準備を進め、蔚山大学校への選抜試験を受けるも不合格。1年間語学勉強や資格の取得に励み、3年の夏に再チャレンジしました。(韓国 蔚山大学校 1年)

・海外留学は入学時に決めていましたが、漠然としたイメージしかありませんでした。日本で英語力が十分に高まり、海外で十分に吸収できると実感した3年生の前期に決断しました。(カナダ バンクーバーアイランド大学 4 月)

・大学2年の頃、先輩からの刺激やゼミの先生の勧めを受け、海外での大学院生活を漠然と考えるようになりましたが準備開始が遅く(3年の半ば)、TOEFLの基準点の取得に時間を要しました。結果、MMU卒業から約1年後の留学開始に。卒業後の大学院留学をお考えの方は、早期の準備開始をお勧めします(笑)。(アメリカ 3年 ※修士)

「約半年前」派

・当初留学する予定はありませんでしたが、英米文学ゼミに所属し、卒論を書くにあたり英語環境で暮らす必要性を感じて。(フィジー 5 月、オーストラリア 5 月)

「1年前」派

(ニュージーランド 10 月/オーストラリア・ヨーロッパ各国/マルタ共和国/ニュージーランド 9 月等多数)

・ヨーロッパ諸国を容易に旅することができる点、英語発祥の地である点からイギリスに。その中で、ミュージカル等の娯楽や都市部での生活が魅力的だったのでロンドンを選びました。(1年)

・世界各国の方々と接したかったから。映画や海外ドラマのロケ地に行ってみたくと思ったのも理由の一つです。(アメリカ ニューヨーク 4 月)

・ロンドンに比較的近くて田舎だから。(イギリス カンタベリー 11 月)

・低費用、将来性、中国語、文化に興味があった。エネルギーが溢れてて惹かれた。(中国 10 月)

・自分の学びたい「英語教授法」のプログラムがあるか、要求されるTOEFLの点数や学費は高すぎないか、という条件を設定。(アメリカ 3年 ※修士)

・絶対イギリス！と考えていましたが、ワーキングホリデービザの取得が大変で、費用もとても高く、断念。ならばヨーロッパの中でイギリスに近い国を、と思い調べて決めました。(アイルランド 1年)

・出身地である沖縄と中国の福建省が非常に近い関係にあったことを知り、決めました。(11 月)

・費用の安さと自然の中でゆっくり暮らせる点からフィジーの語学学校へ行き、その後、そこでの学習成果を英語が第一言語である国で生かそうと思いました。(フィジー 5 月、オーストラリア 5 月)

・帰国後に教員採用試験が待っていたため、どのタイミングで帰ってくるかも重要な材料です。(カナダ 4 月)

・ヨーロッパで英語が母国語であり、ワーキングホリデーができて、なるべく日本人のいない点。(アイルランド 11 月)

・フィンランドに近い英語圏で日本人が少なく、費用が安い。(マルタ共和国 1年)

・できるだけ多くの国の人と出会い、色々な英語に触れたいと思ったので、移民の国といわれるカナダを選びました。自然の多さ、予算や気候、安全性にも着目しました。(カナダ バンクーバー 1年)

海外留学・渡航経験者に聞きました BEFORE / AFTER の Q&A

Q. 海外留学・渡航を通じて身に付いたものは？

語学力はもちろん、人生観やアイデンティティにも影響

・世界各国の様々なバックグラウンドを持つ人々と出会い、「自分」について考える機会が増え、物事を冷静かつ客観的に考える習慣が身につきました。(カナダ 1年)

・何か不都合や嫌なことが起こっても、「最後は何とかなる」という考えの下、何事にもぶつかることが大切だと思うように。(オーストラリア・ヨーロッパ)

・日本がどれほど豊かであるかを考えさせられました。日本では考えられないような、視野の広がりや新しい価値観、将来のやりたいこと等、得るものは多くありました。(フィリピン 3 月)

・自分の意見をしっかり言い、答えを曖昧にしないということ。(中国 11 月)

・リスニング・スピーキング能力、様々なことをおおらかに受け入れる心、臨機応変さ。(フィジー 5 月、オーストラリア 5 月)

・アメリカの授業では発言する事が大変重要でした。拙い英語や的外れな意見をクラスメイトに笑われる事もありましたが、発言の機会が全て自分を成長させる糧だと信じ、積極的に発言を続けました。「とりあえずやってみよう」という姿勢が身に付いたと思います。(3年 ※修士)

・世界の中の日本人の自覚が強くなりました。日本人の勤勉さ・忍耐強さを見てもらいたいという意識が強かったですね。日本語を絶対に使わず生活する、課題は常に終わらせる等、一生懸命さを崩しませんでした。(カナダ 4 月)

・よい人間関係を作るためには、「笑顔・挨拶・正直」が世界共通の三種の神器だと感じました。(ニュージーランド 9 月)

・各国の英語訛り♪(専門はイタリア英語)(イギリス 11 月)

調査について
期間：2013年12月25日～翌1月22日
方法：facebook等のSNSを通じ、MMUの在學生・卒業生を中心に調査/有効回答数31件。回答の後のカッコは、回答者の留学・渡航先とその期間(期間のないものは無回答)

・図太い神経と楽観的な考え方。(中国 1年)

・「人種や言語が違ってても表情やジェスチャーで伝わるものがある」「伝えたいと思う気持ちが大切だ」ということ。(カナダ 1年)

・文化の違いを身をもって経験し、違いを理解し認め合う大切さを学びました。(韓国 1年)

・視野が広がりました。物事の基準や概念から外れたこともすんなり受け入れられるようになりました。(イギリス 1年)

・人見知りでしたが、少し治りました(笑)。ニューヨークの人は、電車内や駅構内でのダンス、音楽、歌などのパフォーマンスで溢れていて、とても明るくいい街でした。(4 月)

・打たれ強さ、積極性、自発的な行動、旅慣れ、サバイバル能力、日本や自分を客観視する力、恥を捨てること。(中国 10 月)

・要点を絞って話せるようになりました。(フィリピン 6 月)

その他、欲張って色々とお伺いしました！

Q. 携帯電話はどうしましたか？

■日本の携帯電話

1年以内の留学・渡航の場合、最安値プランに変更して日本に置いていく、または緊急時の日本との連絡用に契約を残して持っていく人が多いようです。また、契約したまま「休止」という手段も。※各携帯電話会社にお問い合わせください。

■留学・渡航先での携帯電話

日本のスマートフォンによるWi-Fi利用でのごく、現地で購入した携帯を購入するケースが多いようです。

Q. 日本でのアパートの契約は？

半年以上の渡航では、85%の方が解約をしたようです。中には、留学を見込んで単年契約の部屋や家電付きの部屋に住んでいた人、引き払った後に家具等を貸倉庫に預けた人や全て売り払った人等、様々な取組が寄せられました。「留学資金として、アパートの解約・引越も見据えて貯金をするべき」とのアドバイスも。

Q. 日本との連絡方法は？

Skype、LINE、facebookのいずれかを利用したという意見が全体の約85%を突破。もはや必須ツールと言えるでしょう。その他、手紙・国際電話との声も。

Q. 治安は不安でしたか？

どこであれ、日本よりは治安がよくないという思いで準備・生活をしたようです。特に不安がある国については、比較的安全な地域を選んだり、危険な地域を予め調べ、近づかないようにすることが大切。以下、アドバイス・経験談です。
・どこでも共通して言えることは、夜に1人で出歩かないようにする
・外務省の渡航情報を参考にした
・現地生活経験者やエージェント(留学斡旋機関)から情報をもらった
・保険を万全にかけて渡航した
・アジア人に差別意識を持つ人も少なからずいる
・国内外問わず自分の身は自分で守るという意識を常に持つことが一番の対策

*1 公費派遣留学

学内選抜試験で選ばれた代表学生が、4月～1年の間、協定校等へ留学する制度。授業料は、MMU・留学先の双方において免除され、奨学助成金が毎月MMUから支給されます。さらに、英語圏については渡航費も一部助成されます。
奨学助成金：中国 4万円/月、韓国 5万円/月、ニュージーランド・カナダ 5万円/月 ※英語圏には、往復計16万円分の渡航助成金も支給(返済不要)

*2 異文化実習

3週～1カ月の間、協定校等において、語学・文化研修を行います。前後3時間分ずつ開講される学内研修を含めて研修の全行程を修了すると、「異文化実習」という科目として2単位が与えられます。なお、1科目につき1度に限り渡航助成金が支給されます。
渡航助成金：渡航費の半額を助成(返済不要、上限10万円)

※平成26年3月現在の情報です



私はこうして語学力成長中！

韓国語

한국어



教える立場も経験し、自身の韓国語の力を高める

MMU入学前～

大学で初めて韓国語を勉強した彼女は、韓国人留学生の「パートナー」を務めた。コミュニケーションを上手く図れないことに悔しさを覚えて、勉強に本腰を入れる。1年時にはJENESYS(ジェネシス)*訪韓研修団に参加、現地を訪れることで更に刺激を受け、2年の夏から留学を考えるようになった。韓国人の友人との連絡を継続しながら、韓国語の上達に励む。サークル活動の一環として、市民の人々に韓国語を教えることは、自分の語学力を高める糧にもなった。

公費留学(大学3年)～現在

3年の秋から始まった留学生活では、前半は韓国語の授業に専念、後半からは現地の学生と一緒に講義を受け、韓国語を頭の中で日本語に変換せず、そのまま理解できるように努めた。留学中に韓国語検定5級を取得し、現在も韓国の留学生との交流やドラマ、映画等を通じ、勉強を続けている。

*JENESYS…「21世紀東アジア青少年大交流計画」。2007年、安倍総理(当時)より、東アジア首脳会議参加国(ASEAN、中国、韓国、インド、豪州、ニュージーランド)を中心に、5年間で毎年6,000人程度の青少年を日本に招く交流計画を表明。これに基づき2008年から2012年まで各地で様々な交流事業が実施された。

中国語

中文



勉強を始めてわずか4年で、HSK*6級を取得

MMU入学前～

MMU入学まで全く中国語に触れたことがなかった彼女に火をつけたのは、中国人留学生達との出会い。彼らの日本での生活を支援する「パートナー」活動が、中国への関心を高めた。1年時に履修した中国語の授業で課されたのは文法でも会話でも無く、徹底的な発音訓練。その後、1カ月の「異文化実習」に参加し、直後に受験した中国語検定ではリスニングがとても遅く聞こえ、研修の効果に身染みて感じた。中国語で書いた日記を中国人の友達から添削を受けたり、Skypeで中国人の友達と会話したり、勧められたドラマ等を鑑賞をすることで中国語の向上に努め、念願叶って1年間の公費留学を果たす。

公費留学(大学3年)～現在

留学先の蘇州大学では、授業で作文やロールプレイを行い、授業外は積極的に中国人学生と交流し、生きた中国語を学んだ。帰国後、現地で受験したHSK6級の合格通知を受け取る。現在は教員を目指しており、将来は協定校の締結や国際交流に貢献していきたいと考えている。

*HSK…日常中国語の応用能力を判定する中国政府公認の検定試験。最高級である6級は「中国語の音声情報や文字情報を不自由なく理解することができ、自分の意見や見解を流暢な中国語で口頭または書面にて表現することができる」レベル。

英語

English



「お手製のプラン」で自由に語学研修

MMU入学前～

高校時代から留学を考えていたが、大学入学後にレベル別に振り分けられた英語のクラスは中級程度だった。大学2年で留学を本格的に考え始め、選んだ滞在先はイギリス。現地の文化に興味があり、かつ近隣国へ旅行しやすいことが決め手となった。授業、DynEd(ダインエド)*、TOEIC対策、エージェントを介さない留学手続き、ホストマザーとの頻繁な連絡を通じ、留学への期待を高めた。

渡英(大学3年)

渡英後、現地の語学学校では中級レベルのクラスからスタート。授業や、週1回開催される交流イベントによって、実際に英語を話しながら知識を定着していった。3カ月ごとに行われるテストで順調に進級し、遂には最上級のクラスに入ることができた。

帰国後～現在

帰国した今では、字幕無しで映画を観ることが出来る程。現地のラジオニュースも毎日聴いている。今後は、商社や物流関連企業への就職を視野に入れながら、様々な文化圏での生活を夢見ている。

*DynEd…MMUが導入している英語学習のeラーニングソフトで、リスニングとスピーキング力強化に特化したプログラム。

INTERVIEW

海外渡航ストーリー

海外渡航について、出発前の準備と帰国後に得たものにスポットをあて、佐藤さんにインタビューをしました



佐藤さんの情報収集ストーリー

アメリカの大使館のホームページを検索し、そこに掲載されている情報から必要な書類を揃えたり送ったりしました。

語学学校

こちらでもインターネットや留学経験者の方々から情報収集をしました。最終的な学校の決め手は料金とカリキュラムです。私は基本の授業数が最も少なく、他の授業をオプションとして楽しめるクラスに登録しました。留学後にも、みっちり勉強をするつもりでも次第に飽きてしまうことがわかったのです。モチベーションを維持しながら英語を学ぶことができました。

滞在先

留学開始後の8週間は、ホームステイを経験しました。外国の方との生活で、より海外の方との価値観の違いを感じ、その後はルームシェアをして過ごしました。私と同じく、生活の価値観を理由にルームシェアを希望する人を対象とした会社があったのでそこにお世話になりました。

■記事 上野 麻衣(1年) 多田 恵菜(1年)

海外で学ぼうと思いましたが？

国際文化学科で学んでいることもあり、大学生という時間を使って世界を見たいという思いがありました。大学2年の終わりに、卒業後の進路が決まっておらず、1年間世界を見ることで自分の将来について考え直そうとしたことがきっかけです。アメリカが舞台である洋画を観る度に魅力やエネルギーを感じ、人種のつぼと言われるニューヨークへの留学を決めました。また、フランスへの渡航経験があるアルバイト先の先輩の存在も、留学を視野に入れたきっかけの一つです。

海外留学に対する不安はありましたか？

不安はありませんでした。留学を控えて、ワクワクするタイプの人もいますが、私にとっては人生の中で一番落ち込んだ時期だったと思います。しかし、20年間の人生経験上、嫌なことほどいざ挑戦してみると楽しくてたまらないことが多かったんです。行く前にこれほど不安でたまらないのだから、留学後はこれ以上嫌な思いをすることはなく、きつと楽しめるだろうと思っていました。

海外留学を断断した時期について教えてください

出発の約半年前、5月によく気持ちが固まりました。親に留学の話をしたところ、エージェントを使わずに留学のすべてを手配・実行すれば、費用の支援をするという条件をもらいました。また、何を学びたいかをしっかり準備していくように、とも言われました。私にとっては「留学

海外留学に向け、準備したものは？

私の所属するゼミの福田教授(英語学)から、お風呂で体を洗うナイロンタオルと爪切りを日本から持って行くように言われました。ナイロンタオルは便利なアイテムですが海外ではあまり販売されていません。また、爪切りは日本製に限りません。日本の技術は世界トップクラスであることを実感しましたね(笑)。ちなみに、海外渡航に定番の変圧器等は特に準備せず、荷物は小さなトランク一つだけでした。いくら荷物を準備しても海外では予想外のことが起きないから、どんと構えておく姿勢こそ、一番の準備になるのだと思います。

自分で手配した留学を通じて身についたことは？

『危機管理』の意識です。常に「もし、何かあったら」と最悪の事態を考え、それに備えて行動ができるようになりました。日本で困ったことがあれば何らかのサービスで助けられることがありますが、海外ではそういう点が充実していないことが多々あります。情報のバックアップを必ず取り、物事の判断・決断を自分でしっかりできるようにしました。また、自分とは異なる価値観を持つ人とたく

海外留学に興味を持つ後輩の皆さんにメッセージをお願いします

自分の目で見たものを信じてほしいです。私自身、ニューヨークに対するイメージが留学前後で大きく異なりました。メディアで伝えられることや、噂話も事実の一つかもしれないが、それらを鵜呑みにせずにぜひその地を実際に訪れ、自分の目で確かめてほしいです。また、海外の方は日本にとっても興味を持ち、様々な質問を投げかけてきます。私は「寿司作ったことある?」と聞かれました。日本の文化として寿司が有名であることは心得ていました。予想外の質問に戸惑い、寿司の作り方を知っておけばよかったと後悔したことを覚えています。海外の方とコミュニケーションをするために重要なのは、「英語でどう喋るか」ではなく、「何を喋るか」なのです。まず、今住んでいる地域やそこにいる人を大切に、普段から身の周りに目を向けて生活してほしいと思います。

まず自分の足で立てるようになって初めて世界に目を向けることができるのだろうと考えました

佐藤 あすかさん
4年 英語学ゼミ
渡航先：アメリカ 1年



花房 里佳さん
4年 文化人類学ゼミ
渡航先：韓国 1年



山本 育実さん
4年 英語教育学ゼミ
渡航先：中国 1年



安部 幸紀さん
4年 広告コミュニケーションゼミ
渡航先：イギリス 1年

Theme1 青春時代 ～社会学との出会い～

高校1年の冬までは、父親の勧めもあって、理系に進もうと考えていたんだけど、いくら頑張っても数学の成績は伸びず…。そのうち、数学と僕はもうやら相いれない関係だっことに気が付いたんだ。「さてどうしたものかなあ」と悩んでいる時に、友人から小室直樹という社会学者の存在を教えてもらってね。そして、たまたま別の友人がその人の本を持っていて、貸してくれたんだ。『ソビエト帝国の崩壊』という本なのだけれど、これがすごく面白かったんだよね。今思えばあの友人たちと1冊の本が、僕を社会学という学問に導いてくれたんだと思う。

Theme2 大学時代 ～院生としての葛藤～

そんなこんなで、興味を持った社会学を学ぶことができる大学へ進学することに。でもその時はまだ、「大学院に進んで研究したい!」という強い思いはなかったんだよね。ただ、大学2年(1988年)の「社会実習調査」という講義で、外国人労働者の調査を行ったんだけど、それがまた面白くて。発見を報告書にまとめていくことに、すごく手ごたえを感じたんだ。こんな僕の様子を見て、その講義の担当だった先生が、大学院に進んで研究してみないかと声をかけてくださったのが、院に進む大きなきっかけとなったね。

院に進んでからは色々大変だった…。なんせ先生と同じテーマで研究を始めてしまったから、師と仰ぎながらもどこかライバルとして意識してしまうし、せっかく研究についてアドバイスを頂いても、「先生と同じはいやだ!」と思ってしまう自分がいてね。そんなこんなやってるうちに、結局7年の月日が流れてしまった。そんな僕を見かねてか、先生からちょうど教員募集していたMMUへの応募を勧められたんだ。

Theme3 『進んでもわるし、退いてもわるし』

先生に応募を勧められたものの、僕はすぐにイエスと言えなかったんだ。と言うのも研究がまだ中途半端だったし、何よりこんな状態で就職してやっていけるだろうかという不安が大きくてね。そこで、不安を払拭できればいいなあと思いつつ、東京の浅草寺に行っておみくじを引いてみたんだ。そしたら「凶」で…。と言っても僕、今まで浅草寺のおみくじで「凶」以外引いたことないんだけどね(笑)。でもそれで結局また1週間はどうするか悩んだなあ。そして、いよいよ応募するか否か答えを出さなきゃならない期限前日! でもやっぱり決めきれない…。どうしようもない僕は、また浅草寺に行っておみくじを引いたわけ。そしたらまた「凶」でね(笑)。「ああ、やっぱりだめか」と思ったその瞬間、ふと目にとまった御言に「進んでもわるし、退いてもわるし」って書いてあったわけ。それを見た途端、「なんだ、進んでも退いても悪いなら、進もうかな」と決心したんだ。



倉真一 准教授 社会学
 Associate Professor Shinichi Kura

1968年生まれ。専門は社会学。筑波大学大学院博士課程単位取得退学。1998年にMMUに着任。乗り物全般が大好き。

Theme4 生きていくための知恵

社会学の良さは、何といってもそのフットワークの軽さだね。何をやってもいいという自由度が高い学問だと思うよ。それをMMUの学生たちにもっと感じてほしいなあ。MMUの学生たちは、他大学と比べても真面目だって感じる。ただ「ある指定された枠の中でやっている」という印象も少なからずあるね。もっと、大学生らしく自由であっていいんじゃないかと思う時もある。もちろん僕たち教員も、「自由にやれ」と命令口調でダブルバインドにならないように気をつけなければいけないけど…。要するに『生きていくための知恵』を身につけてほしいと思うんだよね。

Theme5 今後の展望

MMUに勤めて10年くらい経ってからかな。変な迷い方をしなくなったし、自分が楽しいと思うことをやりたいと思って行動したら、結果的に「いい感じ」になってくるというのを感じているね。研究に関しては、今まで「移動」という社会現象に対するこだわりをもってやってきたので、大学時代からの研究だった「移民」に「観光」や、故郷でもある「北海道」、そして「宮崎」のことも含めてまとめてみたいというのは、ここ最近ずっと考えているかな。展望はねえ…『望むものではなく拓けてくるものである』と思っていてね。だから、とりあえず迷っても進んでみるっていうのもありなんじゃないかなって、そう思いますね。

枠にとらわれず、
 もっと自由な発想を持とう。

■記事 山本 麻育子 (3年 社会学ゼミ)
 ■写真 古川 瑠衣 (3年 中国文化論ゼミ)



vol.05 英国/スターリング大学
 Scotland / The University of Stirling

世界へ漕ぎだせ!
視界よっ!
 YO-SHIP!

interview 2013年、MMUは新たに英国のスターリング大学と学術交流協定を結びました。今回の「視界よっ!」では、その年の夏に初めて行われたスターリング大学での「異文化実習」に参加した3名の学生にインタビューを行いました。



安楽 寛さん
1年

眞榮平 結希さん
2年 英米文学ゼミ

工藤 茜さん
3年 社会心理学ゼミ

「異文化実習に参加したきっかけは何ですか?」
安楽(以下、安) 異なる価値観を持つ人々と交流したいという思いがもともとあったのですが、いざ「異文化実習」に参加しようというときに、どの国に行くかで迷ってしまっ。そんな時、中山先生の授業を受けて英国に興味を持ったんです。きっかけは「自分」の英語力を伸ばすこと、という思いが強まりました。
工藤(以下、工) 私は以前からずっと英国に行きたいと思っていました。だからMMUとスターリング大学が協定を締結すると知ったときにはとても嬉しくて。就職活動前のラストチャンスだと思って参加を希望しました。
眞榮平(以下、眞) 私も、英語を学び始めた頃から英国に関心がありました。むしろ、英国に関心を持ったから英語を学び続けられた気がします。将来は英国で働きたいとも思っています。
安 それぞれに色々な思いがあったんですね。実際に出発するまでの準備は大変でしたか?
眞 パスポートやビザの申請でバタバタしましたね。
工 ホテルの手配等、自分たちで考えないといけないこともあって、入念に準備しないと大変だと思いました。
安 自分たちで計画を立てたり、実際に行く場所を考えたのは、大変ながらも楽しかったですね。
眞 準備の段階から実習は始まっているんですね。
工 英国に到着したときの印象はどうでしたか?
眞 いざ、英国に着くと景色や建物がとてもきれいで、道を歩くだけで本当にワクワクしました!
安 食べ物も美味しくて、フィッシュアンドチップスが特に。
工 私は眞榮平さんと英国伝統のティータイムも経験したんです。
眞 アフタヌーンティーしましたね。ケーキとかサンドイッチとか本当に美味しかったです。
安 食べ物や印象が強いんですね(笑)。学校生活や寮生活はどうでしたか?
眞 講義についていけるか心配な面もありましたが、最初に受けたテストの結果でクラス分けがされるので、それぞれのレベルにあった講義を受けることができました。
眞 仲良くなった地元留学生にMMUでフランス語を勉強したことがあることを話したら、彼女が

とても流暢にフランス語を話してくれて。それで「私ももっと頑張らなきゃ!」って思いましたね。
工 地元の友達をつくることで大事ですね。たいてい午前中は講義で、午後はアクティビティでしたが、その中で友人もできて、次第に英語を話すことに抵抗がなくなってきました。
眞 アクティビティでは、ティーパーティーやダンスパーティー等、日本ではなかなかできない体験ができてとても新鮮でした!
安 週末は大学から離れたところにも研修に行きたよね。エディンバラ、ネス湖、グラスゴー…色々な観光地を訪れることができて良かったです。
眞 そうですね。たくさん歩いてとても疲れたけど、いろんな建物、景色を見ることができて、興奮しっぱなしでした。
工 実習中に生活した大学内の寮がお城だったので、驚きましたね。共同キッチンだったので、みんなで自炊してご飯を食べたんですが、食材を焦がしてしまっ。あのときは焦りましたね(笑)。
工 私は、ハリポッターが好きなんです。だからロンドンでハリポッターの世界観に触れて、すごく興奮しました。
安 僕は、大英博物館のライオン像の前でデモに遭遇しました。
眞 バリではひたすらシャンゼリゼ通りを歩いたよね。これが長くて長くて(笑)。
眞 異文化実習での色々な経験を通して、得られたものは何ですか?
安 思っていることをうまく言葉にできない悔しさを感じました。ただ、出会った人たちは皆、拙い英語でも熱心に聞いてくれたんです。聞いてくれる人がいる、それだけでも話せるようになっていきたいと思います。
眞 「もっと勉強しなければ」という思いはもちろんです。飛び込む勇氣を持って臨めば、得られるものも多いと思います。
工 自信がなかった分、英語で注文できたときや両替ができたときはとても嬉しかったです! 英語で話したいという欲求がさらに強まりました。もっと上手に話せるようになって、もう一度英国に行きたいですね。

■記事 松田 典子 (2年 情報社会論ゼミ)
 小久保 綾乃 (2年 広告コミュニケーションゼミ)

卒業論文 提出日に 迫る！

「卒業論文」。昨今、卒業にあたって提出の義務を課さない大学もあるが、ほとんどの大学生は、学生生活における勉学の集大成として、卒業論文を書き上げる。MMUの卒業論文は、先輩の卒業論文発表会の終了とともにバトンが渡され、4年生に進級した直後の4月末には「研究計画書」を提出し、11月には中間発表会にて発表を行わなければならない。このように、MMUの学生は少なくとも在学最終年度の1年間は、卒業論文が生活の一部といったも過言ではない状況に置かれている。数ある大学の中でも、MMUの卒業論文は特徴的である。例えば、作成するうえで一行の文字数や行数が定められていたり、計画書や概要書の様式が非常に細かく定められていたりするのだ。

また、以下に取り上げる「卒業論文提出日」を読んでいたと、これが「一大イベントである」と感じていただけたらと思う。管理棟の2階にある「特別会議室」が提出会場となり、そこには様々な部署の事務局職員が提出に来る学生を待ち構えている。卒業論文提出できるのは、指定日(2013年度は2014年1月23日)の午前9時から午後4時半の間のみ。それ以外での提出は認められていない。提出に来る学生の様子も様々である。9時前に、余裕を持った面持ちでやって来る学生もいれば、ギリギリになって駆け込みで提出しに来る学生。ゼミの教員や仲間と一緒に提出に来る学生もいる。そして、それぞれが無事に提出を終えると晴やかな顔で特別会議室から出てくる。先輩は、そんな先輩の様子を見ながら、いずれ来る自らの将来に思いを馳せるのである。

卒業論文提出後の有馬ゼミ(行政学)の皆さん



卒業論文提出の様子

卒業論文 会場ツアー

会場： 管理棟2階 特別会議室
日時： 平成26年1月23日
午前9時から午後4時30分まで



- 3 卒業証書の氏名確認**
卒業証書の氏名が正しいか確認します。
- 4 進路の確認**
就職支援室が卒業後の最終的な進路の確認を行います。
- 5 未返却図書の確認**
図書館司書が返却していない図書がないか確認を行います。
- 6 卒業論文タイトルの確認**
情報事務室が「卒業論文発表支援システム」に登録されているタイトルと、提出した卒業論文のタイトルが一致しているか確認を行います。



会場前には行列が



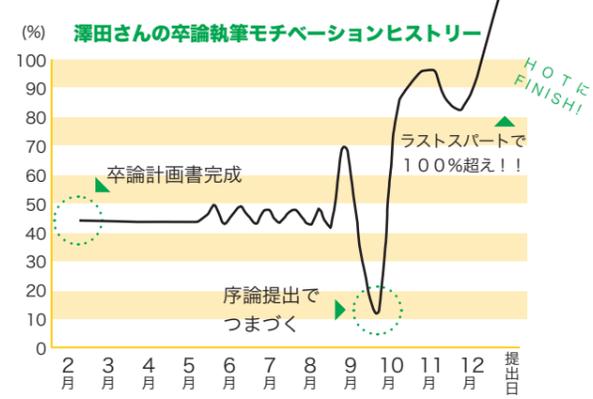
田中 宏明 教授(指導教員) 澤田 光佳 さん
澤田さんの卒業論文テーマ：
アメリカ政治の統合と分裂
宗教右派の政治化とその問題

一卒業論文提出までを振り返ってみてどうですか？
国際関係論ゼミでは、2年後期から卒業の題材を決めて、3年になるときには論文のテーマを決めるんです。そこからレジメを書いて、自分のやりたいことをぼんやり理解して、次の本を読んで行くうちにまたわからなくなって、でもまとめたらまたちょっと理解して…その繰り返しでした。そんな状況であっても先生がとても厳しくて…でも、そのおかげで最終的にきちんとした内容に仕上げることができたのかなあ、と思っています。

一卒業論文のテーマを決めたきっかけは？
自分が興味・関心のある分野について、色々な先行論文を読んでいく中で、特に「宗教」に関心を持ちました。中でも、宗教に関連した政治の在り方に特徴がある、アフガニスタン系を取り上げようと思っていたんですよ。でも色々調べていくと、アメリカも特徴がある国だということに気づき、掘り下げていったらすごく面白かったですよね。それがきっかけだと思います。

一何が一番大変でしたか？
先生が『論文の設計図』と仰るくらいに大事にされていた序論を書くことでした。先生の所に持って行って、書き直しの指示を受けて…その繰り返し(笑)。でも次第に、序論はこれから何について、どのように理論を構成し、展開していくかを述べる部分なので、その重要さが分かってきたんです。だから、必死になって考えて書きあげました。大変だった分、先生から許可を頂けた時は本当に嬉しかったなあ。

一印象深い思い出はありますか？
一番記憶に残ってるのは、終章を書いていた時のことですね。終章は、今まで自分が積み上げてきたものの集大成です。論文の内容を振り返るのはもちろんですが、何より、改めて「ああ、私、卒業論文を書いているなあ」と実感を感じることができたタイミングだったと思います。



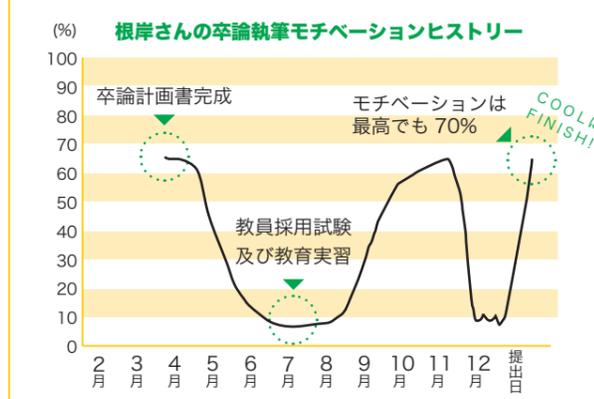
ヒュー ニコル 教授(指導教員) 根岸 拓也 さん
根岸さんの卒業論文テーマ：
Ragtime: Metaphorical Historical Events
and Criticism of Ideals

一卒業論文提出までを振り返ってみてどうですか？
端的に言うなら「長かった」ね。American Studiesゼミは英語で卒業論文を書き上げるので、日本語と英語における表現の違いの壁は大きかった。エッセイ等とは異なる、論文ならではの難しさもあったしね。でも、いわゆる「ランナーズ・ハイ」になる時もあるって、その点ではずっと大変だったわけではなかったのかな。

一卒業論文のテーマを決めたきっかけは？
このゼミは、興味を持った本を1冊取り上げて、その本について考察し、論文を書き進めるというスタイルなんだ。僕は音楽に興味があったんだけど、なかなかその分野の本がなくて。そんな中、音楽の分野とは違った分野でドクトロアの『ラグタイム』という本を先生から勧められたことが、テーマを決めるきっかけになったかな。

一印象深い思い出はありますか？
卒業執筆を通してアメリカという国を調べただけで、今まで自分が信じていた情報が本質とは異なっている部分が多すぎて驚いたよ。改めて異文化理解の難しさを学べたいい機会だったと思う。特に『ラグタイム』では、100～110年前の「人種のるつぼ」時代のアメリカが舞台だったから、その歴史的背景を掘り下げていく中で、今までの自分の認識が変わっていく瞬間が何度もあったのは印象深いね。

一ゼミの雰囲気はどうでしたか？
納得のいく卒業執筆のために、先生は何度も何度も僕にアドバイスをくれて、本当に良くしてくれた。ゼミ仲間は、それぞれ卒業論文の進め方や時間の使い方が全然違っていただけから、自分自身と戦っていた感じだったかな。
今思うと、リベラル・アーツというMMUの特徴を生かして、ゼミという枠組みを超えた意見交換会みたいなことをしてみたらよかったですかなと思う。違う分野の研究をする人に見てもらおうことで、客観的視点も入りやすくなるしね。



私を変えた一冊。

One book that changed me.



大賀 私は幼い頃、いわゆる雑子で、一人で本を読んでいることが多かったですね。空想の世界で遊んでいました(笑)。それから歴史を好きになって、特に宮崎のこと、郷土史を勉強したいなと思うようになりました。ただ、史学科に入るとの時代を選ぶか悩んだんですよ。そのときにこの『日本の歴史(大名と百姓)』という本を読んだんです。作者の佐々木潤之介さんは、非常に難しい論文を書く人なのですが、この本は小説仕立てにされていて、とても読みやすく、面白かったです。この本の冒頭には、「旧家を訪ねてトキドキしながら葛籠を開いたら史料が出てきた、とても感動した」といったことが書かれていたのですが、実際私もカメラを担いで山奥の一軒家に行くと、同じように史料を出してもらったことがあって、その感動も相まって、近世を専攻しようと思ったんです。きっかけになった本だと言えますね。市木さん、狭くんの一冊って何ですか？

市木 私も、実家にたくさん本があったので、小さな頃から自然と本を読むのが好きでした。ただ、中学生の頃に太宰とか、ドストエフスキーを読んでいた、結構背伸びしていたんです(笑)。本を読むという行為が高尚なものだと思っていたこともあって、それを覚えてくれたのが、この『ルリールおじさん』という絵本で、19歳の誕生日に友達からもらいました。19歳で絵本を読むなんて自分でも驚きでしたが、「背伸び」の意識がなくなつて(笑)。これをきっかけに、いろんな文章に触れてみたいと思うようになり、大学に入ってから、評論や短歌集などを手に取るようになりまして。あと、この絵本は製本職人のお話なんですけど、本に対する愛情にとても共感して、「やっぱり私は本が好きなんだなあ」ということを再確認させてくれた本です。

狭 僕はこの、『行かずに死ねるか』という、自転車世界を一周したエッセイ本にもとても影響を受けました。僕は愛知県出身でして、高校生の頃に友人と知多半島を一周したことがあるんですよ。いわゆるマチャリで(笑)。家族旅行にもよく行っていたので旅行には興味を持っていました。大学受験の勉強をしているときにこの本を読んで、

市木 友梨さん
3年 日本文学ゼミ

大賀 郁夫 教授
歴史学ゼミ

狭 明宏さん
3年 経済学ゼミ

ますます旅に惹かれるようになって、「俺も大学生になったら絶対自転車旅行するぞ」と。それで実際に大学一年の夏に必死でアルバイトしてお金を貯めて、自転車を買って装備を揃えてというところから始めました。マチャリしか持っていなかったんで(笑)。そしてその年に、宮崎から愛知まで自転車で野宿しながら旅をしました。ただ、台風が来てしまつて、愛知で友人と会う約束をしていたので、その日に間に合うよう自転車を漕いだのですが、台風の影響で自転車が壊れたので、ずっと台風と一緒に走っていました(笑)。

市木 ゼミの渡邊先生から紹介されて読んだ、米原万里さんの『嘘つきアーニヤの真つ赤な真実』という本を読んで、本を書く人って文化を大切にされている方が多いと感じています。実は私も宮崎の文化に携わる仕事をしたくな、とずっと思っていて。文化と人々の生活を結ぶことをしたい、そんな野望を持っています。

狭 僕は九州や四国を一周しましたが、途中でとてもキツくなったことがありました。北海道縦断の旅に出たとき、僕の自転車はロードバイクではなくクロスバイクなので、僕と同じように自転車旅行している方から「なんでクロスバイク？」と言われたり。この本にも、最初はとても楽しそうに旅を始めていたんですが、非日常であるはずの旅がだんだん日常になるというか、中だるみをしていくことが書いてあります。ただ、これまでも、走り続けたいと目的地にはたどり着けない、そう思うようになりました。

■記事 松田典子(2年 情報社会論ゼミ)
小久保綾乃(2年 広告コミュニケーションゼミ)

CIRCLE DE GOSHIP No.5

goSHIP=ゴシップ=噂。
MMUの部活・サークルに関する噂の真実を調査。

今回の噂： やたらと長い名前のサークルがあるらしい

MMUの課外活動団体(部・サークル)の中で、最も長い名前のサークルが最近設立された！との噂を聞きつけた記者は、早速調査を開始した。周辺の聞き込みから、お昼休みに活動していると判明、彼らに突撃取材を試みた！

噂の真相は…。

古澤 正式名称は「宮崎中央ロータリークラブひむかメディアアクション」と言います。その名の通り、社会人が活動をしている「宮崎中央ロータリークラブ」という地域コミュニティと深い関わりを持っています。もともと宮崎中央ロータリークラブは社会人だけのグループでしたが、学生たちと共に宮崎を盛り上げたいとの思いから、私たちのサークルをグループに加えていただきました。ロータリークラブの方々は宮崎の弱みであるメディア発信を強化すると同時に、私たち学生のスキルアップを目標としています。



ひむかメディアアクション 部長
古澤 里奈さん 2年
大衆文化・出版文化論ゼミ

設立のきっかけ

そんなサークルを立ち上げたのは、4年生の河野瑞紀さん。どのようなきっかけで立ち上げたのだろうか。
河野 2012年に、本学OB主催の講演会に参加しました。その後の懇親会で、OBの方が参加しているロータリークラブの存在を知り、いろいろとお話をする中で、社会人と若者とのつながりが持てる場が少ないとお聞きし、それがきっかけでこのサークルを立ち上げたんです。



写真中央が河野さん

活動内容は？

取材中も、何やら真剣に話し合うメンバーの皆さん。一体どんな活動をしているのだろうか。
古澤 最近まで、ひむかかたる大会・の運営や講演会の企画、CM作成などを行っていました。企画段階から自分たちで作りを上げるので大変ですが、他のサークルではできない活動ばかりで、やりがいと誇りをもって取り組んでいます。今後は、もっと自分たちだけでできる活動の幅を広げ、メディアを介して宮崎を盛り上げていきたいと思っています。

*ひむかかたる大会：宮崎県内の小学生から寄せられた作品3,000点の中から選ばれた読み札と、本学の学生が描いた絵札からなる郷土かたるを使った競技大会。

■記事 松田典子(2年 情報社会論ゼミ)
小久保綾乃

(2年 広告コミュニケーションゼミ)

連続リレーエッセイ その4 いいだしっぺ



執筆
川瀬 隆千 教授
(社会心理学ゼミ)

1961年生まれ。専門は社会心理学。立教大学大学院博士課程単位取得満期退学。青森中央短期大学専任講師を経て、1993年開学当初からMMUへ赴任。

批判的思考のすすめ

梅津先生からバトンを引き継いだ川瀬です。
梅津先生は「歴史ドラマから学ぶべきもの」として「熟考」というキーワードをあげ、「現代人に必要なのは熟考である」と書いています。私もまったく同感です。でも、梅津先生は「熟考」の中身・内容には触れていません。そこで、ここでは「熟考」の中身について、じっくり、じっくり、よく考えてみたいと思います。
熟考とはじつくり考えることですが、グローバルな時代の熟考とは、「論理的で偏りなく考えること」「自分自身の思考過程を振り返って吟味すること」「どんな情報も鵜呑みにせず、批判的に懐疑的に考えること」ではないでしょうか。思います。つまり、批判的思考(クリティカル・シンキング)ですね。

批判的思考とそのような態度はグローバルな情報社会に生きる私たちには欠かせないものです。多様化したグローバル社会では、自分と意見や考え方が違う人々ともコミュニケーションを図り、その考え・意見を聞いて、適切に対応することが求められています。また、ウソとホントが交じり合い、あちこち矛盾だらけの情報から仕事や生活に必要な内容を正しく読み取り、正確に伝える必要があります。クリティカル・シンキングは、グローバル時代の一般教養として、大学で学ぶべき重要なスキルであり、態度なのです。

行かずに死ねるか！ (幻冬社文庫) 石田ゆうすけ(著)



七年半の歳月をかけて、自転車で世界一周を果たした著者の大紀行エッセイ。砂漠の中で追剥ぎに遭ったり、旅先で恋に落ちたり。涙あり、笑いあり、苦労ありの連続の旅。その先に著者が見たものは…。

ルリールおじさん (講談社) いせひでこ(著)



〈ルリール〉とは製本職人のこと。少女ソフィーが大切にしていた植物図鑑。壊れてしまったその図鑑をルリールのおじさんが丁寧に直していく。2人の会話に心が温まり、本に対する愛情が静かに伝わる。

日本の歴史(15) 大名と百姓(中公文庫) 佐々木潤之介(著)



著者が史料に基づき探した実在の百姓「七右衛門」を主人公として、彼の視点から、史料を交えつつ江戸初期の農民たちの生活、幕藩体制の成立過程、農政などを映し出した一冊。



広告コミュニケーションゼミ presents
学生独自の発想力・視点から、新しい宮崎の魅せ方を提案する

今年の広告コミュニケーションゼミは、綾の「水」、延岡の「恵比須」について紹介させていただきます！ 宮崎＝南国というイメージが強いと思いますが、今回はそんな宮崎のあまり知られていない一面について紹介します！ 新たな宮崎の魅力を再発見し、興味をひかれたあなた！ ぜひ一度、足を運んでみてはいかがでしょうか？



plan 1
綾町

うまいもんロードで 美味しくドライブ！

宮崎市の西側、約20kmに位置する東諸県郡綾町。九州中央山地に密接した綾町は、二本の一級河川と世界有数の豊かな照葉樹林帯に囲まれています。そんな綾町には、豊かな環境が生み出す食材を巧みに提供しているお店や企業がたくさんあり、なんとそれらはほぼ一本の道でつながっています！ 広告コミュニケーションゼミでは、この道を「綾町うまいもんロード」として、その魅力を皆さんに紹介します。

綾町うまいもんロード



天然酵母でおいしいパン作り パン工房 綾

パン工房綾は県内外に多くのファンを持つ知る人ぞ知るカフェも兼ねているパン屋さん。特に人気はオレンジパン。綾産の落花生と有機栽培のいよかんのピールがベストマッチだ。自然に囲まれた豊かな景観を楽しみながら自分で選んだコーヒーカップでコーヒーをいただける。水も食材も素材にこだわったパン工房綾のパンを一度食べたら、もう一度食べたくなるのは間違いないだろう。



〒880-1301
宮崎県東諸県郡綾町入野484-17
0985-77-3264

お菓の延長！？「菜膳料理」 オーガニックごうだ

綾で採れた食材に、綾の新鮮な湧き水。オーガニックごうだではあなたの体に優しいお食事を頂くことができます。店内はキャンドルライトのような淡いオレンジで装飾され、素敵な雰囲気のカフェのよう。日々のわずらわしさを忘れ、ここで店長の郷田美紀子さんに、健康についてお話を伺ってみるのはいかがだろうか？ 一日限定20食、予約をしてみてくださいと確実だ。



〒880-1303
宮崎県東諸県郡綾町南俣303-4
0985-77-0045

綾の天然水と自然が産み出す 大山食品

大山食品株式会社は、昭和5年から創業している食品会社だ。主にお酢などの調味料を多く製造・販売している。全商品の製造過程に、名水百選にも選ばれた綾の地下水が使われている。なかでも玄米酢は、麴を使って発酵と熟成を1年間かけて行う創業以来の伝統的な製法で作られている。綾町のクセのないきれいな水と、南国の太陽の力があってからこそ、まるやかなお酢が出来上がるのだ。



〒880-1302
宮崎県東諸県郡綾町大字北俣4538
0985-77-1630

plan 2
延岡市

えびすさんと鮎やなで 町おこし！

全国各地で七福神がブームとなっているが、宮崎にも七福神が存在する。今回、延岡の今山八幡宮に祀られている恵比須に注目し、さらにはこの土地の魅力「鮎やな」と合わせて紹介したい。

「商売繁盛」の秘密!?

宮崎県では延岡市今山八幡宮で祀られている恵比須神。「商売繁盛の神」としてよく知られているが「鯛と釣竿を持っている」という風貌から、古くは「大漁追福」の漁業の神であった。そのうち大漁を願った漁師たちは、市場でも恵比須様の像を祀るようになった。そうすると、その市場は段々と繁盛するようになり、商人たちから注目され、たちまち、「商売繁盛の神」と言われるようになった。



今山八幡宮の日本一の階段

えびすさんが祀られている今山八幡宮の境内には、御影石による石段があります。この石段は、明治にえびすさんとともに大阪から奉納されたものです。東参道148段、南参道137段の御影石の石段は他に例を見ない1段1本もので、この石質は日本一だという声も多くあります。



大瀬川沿いの日本一の鮎やな

鮎やな漁は、手間のかかる毎日の点検・高い材料費などにより、全国的に年々数が減少しているという。そんな中でも、延岡市の五ヶ瀬川では130mにも及び日本一の鮎やなが存在している。栈橋を設置し、実際に鮎が落ちる姿は想像以上にダイナミック！！また運が良ければ、鮎やなのすぐ下で産卵している姿を見ることが出来るかも！すぐそばの堤防の上で鮎やなを見ながら鮎を食べられるいり席もありますよ～！

開催期間：10月1日～12月第1週日曜日（予定）

鮎やな師の想い



伝統鮎やな師
高橋 生矢さん

「技術の進歩によって昔よりはやなを仕掛ける手間は軽減されましたが、約2カ月間の鮎やな漁のために、毎年半年程かけて、手編み作業から始めます。鮎やなの一番の魅力は、鮎が落ちてくる姿を目の前で見られる事です。先ほど話したように鮎やなは非常に手間が掛かります。私たち、鮎やな師がそれでも鮎やなを続けているのは、規模日本一の鮎やなに誇りを持って、伝統のある鮎やなをもっと若い人達など多くの人に知ってもらいたからです。」

今山八幡宮
〒882-0055 宮崎県延岡市山下町1-3875
日本一の鮎やな
〒882-0803 宮崎県延岡市大貫町3丁目718番地
0982-23-1905
(開催期間以外…延岡観光協会 0982-29-2155)

- 10 October**
15日 インターンシップ報告会を開催
定期公開講座「地域文化再考」多角的な視点から見る地域づくり」を開催
(11月22日)
- 11 November**
2日 大学祭「凌雲祭」開催(3日)
15日 ホストファミリー交流会を実施
17日 開学20周年記念講演会を開催
23日 野球部が宮崎市長杯・大学社会人野球選手権大会で初の準優勝
- 12 December**
10日 FD研修会を実施(講師:国際教養大学鈴木典比古学長)
19日 クリスマスコンサートを開催(20日)
- 1 January**
27日 本学初となる冬季短期研修生受入れ事業を実施(蔚山科学大学校生、2月21日)
- 2 February**
1日 阪本准教授による自主講座「1950年代の百万部雑誌『平凡』と『週刊朝日』」を開催
8日 卒業論文発表会を開催(18日)
22日 小学6年生向けの英語講座を開催(2月2日)
- 3 March**
25日 平成25年度卒業式を挙行

Extra News

2014年度より新カリキュラムを導入します

これまで、リベラル・アーツ教育と英語とICT(情報通信技術)の運用能力の養成に注力してきましたが、その内容をさらに進化させるべく2014年度から新カリキュラムを導入します。

専門課程を「言語・文化専攻」「メディア・コミュニケーション専攻」「国際政治経済専攻」に集約。1専攻を体系的に学び専門性を高めると同時に、他の2専攻も横断的に学習し、広い領域にわたる専門性も養います。

また、国際社会で活躍するために必要な語学力やICT等の実践的なスキルもバランスよく身につけるプログラムも設けています。詳しくは、MMUのウェブサイトをご覧ください。

Pickup News

11/17 開学20周年記念講演会を開催



市民の方を対象に、人文学部を抱える大学として学ぶことの大切さをお伝えするべく企画された本講演は、「生きることは学ぶこと」と題し、講師に住田裕子弁護士を迎えて開催されました。

NPO長寿安心会の会長でもある住田弁護士、健康や税務、そして法律といった多岐にわたる角度から、よりよく人生を歩む方法についてお話しいただきました。



宗重 杏奈さん 1年

兵庫県出身。おっとりした性格。唐辛子等の辛いものに目がない。

長谷部 果歩さん 1年

福岡県北九州市出身。もつ鍋をよく愛するちやぎちゃん。

記者(以下、記) 2人の出合いを教えてください。

長谷部(以下、長) MMUに合格後、地元の人と同じ大学に進学する子がいなかったため、「入学式までに友人を見つけなきゃ」と思って、facebookのプロフィールで在籍大学がMMUの人に片っ端から「友達になってください!」と友達申請を送ってました。

記 アグレッシブ!

長 新入生かどうか分からなかったため、4年生の先輩が「ごめん、私もうすぐ卒業なんだ。友達が見つかるといいね」と優しく返事をくれたことも……。

宗重(以下、宗) その申請を送りつけられたうちの1人が私なんです。私も遠方からの進学で友人ができるかどうか不安だったので、すぐに意気投合しました。

記 インターネット上で、ですよ。現代か……。

長 それで入学式の日に講堂の入口で待ち合わせ、「宗重さん?」「長谷部さん?」「うーっ!」みたいな笑。宗、でも今思えば、入学式の前にホームセンターでハセベに会ってるんですよ。facebookで写真を見ていたら、「ひよっとしてあの子やうかなあ、でも声かけて違ったら恥ずかしいなあ」と悶々として結局、柱の陰からじつと見つめてました。

記 怖っ!

長 初めて会った日の翌日にはお泊りして、ショッピングモールに買い物に出かけて、初対面という感じは全然なかったですね。これはMMUの学生全体に言えることですが、人見知りする人が少なく友人になりやすかったです。

記 とても仲良しなのが伝わってきてこちらも照れてしまいそうですが、相手の「ここはちょっと……」というところはありますか?

宗 ハセベはめっちゃ寝るんです。1日9時間とかざらにある。朝起きるの遅いし勉強は大丈夫かなって心配になる。

長 アンナだって映画の途中で絶対寝るよね。2人で夜の10時頃からDVDを観ていたら10時半には寝てるし。私はちゃんと最後まで観るので夜遅くなってしまっただけなんです……。しかもアンナが途中でまでしか観てないなと思って、次も同じDVDを観てあげると、また寝るんです。おかけてハリポッターが全然先に進めない。しかもちやつかり早起して授業受けてるし……。

記 よし、君ら夜の7時からDVD観なさい。

MMU MEMBERSHIP REAL VOICE

テーマ うちらマブダチ!

アットホームな雰囲気や学生間の距離が近いMMUですが、学生の出身地は日本全国に広がっているため、新入生はほぼ初対面。じゃあみんな最初はどのようにして友達を作ってるの? 「マブダチ」を自認する1年生に生の声を聞いてみました!!



前田 美穂さん 1年

兵庫県西脇市出身。しゃべり始めると止まらない関西ガール。ダンス部に所属。好きな食べ物はかつおぶし。ポケ担当。

吉形 和晃さん 1年

兵庫県西宮市出身。学友会執行部書記に就任し、バスケットボールサークルの立ち上げにも奔走中。しゃべり始めると止まらない関西ボーイ。ツッコミ担当。

記 お互いの第一印象はどんな感じでしたか?

吉形(以下、吉) 入学直後に新入生同士の親睦会場で初めて会ったんですけど、でっかいヘアバンドしてたんですよ。前田(以下、前) 兵庫から宮崎に来て知り合いが一人もいなかったんで、目立つもん身につけてみんなにおぼえてもらおうと思って。

吉 ほんでそれから大学で会う度にいつも同じヘアバンドしてるから、「ちゃん洗ったのかな……」て。

前 洗ってるわ! まあそのヘアバンドもバスで失くしてもうてんけどな。私の方の第一印象は「斎藤工に似てるな」でした。今は全然似てへんけど。ていうかあんな髪伸ばした方がええ。

記 2人はマブダチのことですが、マブダチとトモダチの違いってなんですか?

吉 気を遣わないで済むところちやいいますかね。何でもズケズケ言えるし。

前 私は安心感というか、頼れるところかな。相談した時にはためになることを言ってくれますね。

記 同じ兵庫出身というの大きいのでしょうか?

吉 それはいいですね。同じ兵庫でも西宮市と西脇市は都会度がちやいますし。

前 都会ぶるな! あ、でもこの前2人とも帰省してた時に兵庫で会いまして。西宮のタリーズでお茶してたんですけど、この人でっかい声で「日本中の女の子が俺のこと好きになればええのに」みたいな意味不明な話してて、周囲の女子高生がジロジロ見てきてめっちゃ恥ずかしかった。

記 仲良しですね(笑)。学内で一緒にいるんですか?

吉 そうでもないですね。俺らお互いがどこに住んでるかも知らないです。

前 え、うち知ってた? Y&Mマシヨンやろ、吉全然ちゃうわ(笑)。しかも Yoshikawa & Maeda、みたいな感じの適当なマシヨン名を言った(笑)。

記 (苦笑) お互いにどんな点が友達として魅力的ですか?

前 やっぱ自分に芯があることですかね。自分の意見をいつも持っていることはすごいと思う。

吉 俺は逆に他人の意見を受け入れられる。ミホの柔軟性が羨ましいけどな。

前 ほんま? もつとゆうて(笑)。

吉 あかん、すぐ調子にのりよる。

記 君たち、変わった友達やね……。

学生記者紹介

編集後記

マロン・トサン・ロンソン

『MMU SHIP』に関わってきて1年が過ぎ、このコメントのネタが尽きました。(笑)。しかし毎号の企画案一つ一つに込められた各担当の思いは違います! そんな情熱を広報誌に載せた我々の思いを皆様に感じて頂けると幸いです。

古川 瑠衣(3年 中国文化論ゼミ)

今回は特集ではなく、レギュラー企画を担当させていただきました。のんびり屋の私でしたが、周りの方々のお陰で無事に書き上げることができました! お楽しみくださいませ!

山本 麻育子(3年 社会学ゼミ)

初めて『MMU SHIP』の編集に参加させて頂きましたが、大変貴重な経験となりました。『MMU SHIP』制作に関わることが出来て本当に良かったと思っています。取材に協力して頂いた方々、担当して下さった職員記者の乗原さん、小久保綾乃(2年 広告コミュニケーションゼミ)

今回初めて制作に携わり、企画や制作する楽しさを感じることができました。取材に協力して下さった皆さまに感謝しています。

松田 典子(2年 情報社会論ゼミ)

今回、製作初挑戦。白紙4ページで何を伝えるのか? 試行錯誤・充実の日々でした。力を貸してくださいっすべての方々に、また、『MMU SHIP』を手にとってください! あなたに、感謝です!

多田 恵菜(1年)

留学特集はいかがでしたか? 本学の先輩方との会食の際は、高確率で海外生活の思い出が話題に上がり、高頻度で他言語が飛び交います。

上野 麻衣(1年)

私事ですが、2012年からランニングをはじめ、その力試しにマラソン大会に出るようになりました。ランニングとマラソンの違いとして、マラソンは多くの方の声援をいただきながら普段では走りきらない距離を走破し、その先に待ち構えている点ではないかと思えます。

また、2013年には、ちよっとした登山も始めるようになりました。まだ、山に登ること自体への楽しみというよりも、登った先の何かを求めてしまおうという山頂の景色が素晴らしい山をターゲットとしていきます(ちなみに、2013年は韓国岳と行徳山という山を登りました)。

話は変わって、今回の表紙及び特集2で取り上げた「卒業論文提出日」。これは、MMUならではの風変わった行事ではないかと思っております。私の出身大学では、製本した卒業論文2冊を、1冊は担当教員に渡し、1冊は事務室の箱に置いておくだけだったような。MMUの卒業論文提出の「儀式」は、学生の皆さんからすると大変なプレッシャーだらけなうなあと感じますが、一方で少し羨ましいとも思っております。この提出の儀式が、卒業論文の執筆ひいては大学生活全体のフィニッシュテープであり、山頂の絶景であるように思っております。

だからこそ、職員さんの厳しい審査の目を通過して、卒業論文提出の会場である特別会議室を出た後の達成感に満ち溢れた学生の皆さんの表情は格別素晴らしかったです。在学中の楽しかったこと、苦しかったこと、その全てを振り返るひとときになるんだらうと思えます。

私は、今後全く同じ達成感を味わうことはないかもしれませんが、何かに一生懸命になり、達成を為し得て人として少しでも大きくなることを続けていきたいな、と思った1月23日でした。

学生の皆さん、本当にお疲れ様でした。

■担当 田辺 邦晃(企画総務課 企画係)

